

共通科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02AM403	Communication Techniques	1	1.0	1 - 3	春AB	水2	生農 F106	ブザス ディアナ ミハエラ	A myriad of techniques can be used to communicate effectively. In this course, students will be able to integrate communication techniques in two types of presentations (impromptu speech and pechakucha) based on given templates. Students will both evaluate and practice presentations thereby developing presentation skills and identifying their personal strengths in communication.	Lectures will be taught in English. The class is limited to 25 students. The lecture room: F106

生物資源生産学領域

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02AM001	植物育種学講究I	2	1.0	1	通年	随時	研究室	大澤 良, 吉岡 洋輔, 津田 麻衣	植物育種学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	
02AM002	植物育種学講究II	2	1.0	2	通年	随時	研究室	大澤 良, 吉岡 洋輔, 津田 麻衣	植物育種学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	
02AM003	植物育種学講究III	2	1.0	3	通年	随時	研究室	大澤 良, 吉岡 洋輔, 津田 麻衣	植物育種学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	
02AM004	作物生産学講究I	2	1.0	1	通年	随時	研究室	野村 港二	作物生産学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	
02AM005	作物生産学講究II	2	1.0	2	通年	随時	研究室	野村 港二	作物生産学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	
02AM006	作物生産学講究III	2	1.0	3	通年	随時	研究室	野村 港二	作物生産学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	
02AM007	蔬菜・花卉学講究I	2	1.0	1	通年	随時	研究室	江面 浩, 松倉 千昭, 福田 直也, 有泉 亨, 康 承源, 矢野 亮一, 棚瀬(日和佐) 京子, 野中 聡子	蔬菜・花卉学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	
02AM008	蔬菜・花卉学講究II	2	1.0	2	通年	随時	研究室	江面 浩, 松倉 千昭, 福田 直也, 有泉 亨, 康 承源, 矢野 亮一, 棚瀬(日和佐) 京子, 野中 聡子	蔬菜・花卉学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	
02AM009	蔬菜・花卉学講究III	2	1.0	3	通年	随時	研究室	江面 浩, 松倉 千昭, 福田 直也, 有泉 亨, 康 承源, 矢野 亮一, 棚瀬(日和佐) 京子, 野中 聡子	蔬菜・花卉学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	
02AM010	果樹生産利用学講究I	2	1.0	1	通年	随時	研究室	菅谷 純子, 瀬古澤 由彦	果樹生産利用学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	
02AM011	果樹生産利用学講究II	2	1.0	2	通年	随時	研究室	菅谷 純子, 瀬古澤 由彦	果樹生産利用学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02AM012	果樹生産利用学講究III	2	1.0	3	通年	随時	研究室	菅谷 純子, 瀬古澤 由彦	果樹生産利用学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	
02AM013	動物資源生産学講究I	2	1.0	1	通年	随時	研究室	田島 淳史, 浅野 敦之	動物資源生産学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	
02AM014	動物資源生産学講究II	2	1.0	2	通年	随時	研究室	田島 淳史, 浅野 敦之	動物資源生産学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	
02AM015	動物資源生産学講究III	2	1.0	3	通年	随時	研究室	田島 淳史, 浅野 敦之	動物資源生産学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	
02AM061	作物生産システム学講究I	2	1.0	1	通年	随時		林 久喜, 加藤 盛夫	作物生産システム学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	授業は研究室で行う。
02AM062	作物生産システム学講究II	2	1.0	2	通年	随時		林 久喜, 加藤 盛夫	作物生産システム学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	授業は研究室で行う。
02AM063	作物生産システム学講究III	2	1.0	3	通年	随時		林 久喜, 加藤 盛夫	作物生産システム学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	授業は研究室で行う。
02AM043	植物遺伝情報解析学講究I	1	1.0	1	通年	随時		柴 博史	植物遺伝情報解析学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	授業は研究室で行う。
02AM044	植物遺伝情報解析学講究II	1	1.0	2	通年	随時		柴 博史	植物遺伝情報解析学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	授業は研究室で行う。
02AM045	植物遺伝情報解析学講究III	1	1.0	3	通年	随時		柴 博史	植物遺伝情報解析学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	授業は研究室で行う。
02AM046	代謝ネットワーク科学講究I	1	1.0	1	通年	随時		草野 都, 王 寧, アシキン ヨナタン	代謝ネットワーク科学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	授業は研究室で行う。
02AM047	代謝ネットワーク科学講究II	1	1.0	2	通年	随時		草野 都, 王 寧, アシキン ヨナタン	代謝ネットワーク科学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	授業は研究室で行う。
02AM048	代謝ネットワーク科学講究III	1	1.0	3	通年	随時		草野 都, 王 寧, アシキン ヨナタン	代謝ネットワーク科学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	授業は研究室で行う。
02AM049	媒介動物制御学講究I	1	1.0	1	通年	随時		テイラー デマー	媒介動物制御学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	授業は研究室で行う。英語で授業。
02AM050	媒介動物制御学講究II	1	1.0	2	通年	随時		テイラー デマー	媒介動物制御学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	授業は研究室で行う。英語で授業。
02AM051	媒介動物制御学講究III	1	1.0	3	通年	随時		テイラー デマー	媒介動物制御学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	授業は研究室で行う。英語で授業。
02AM052	エピジェネティクス講究I	2	1.0	1	通年	随時		ブザス ディアナ ミハエラ	エピジェネティクス分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	授業は研究室で行う。英語で授業。
02AM053	エピジェネティクス講究II	2	1.0	2	通年	随時		ブザス ディアナ ミハエラ	エピジェネティクス分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	授業は研究室で行う。英語で授業。
02AM054	エピジェネティクス講究III	2	1.0	3	通年	随時		ブザス ディアナ ミハエラ	エピジェネティクス分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	授業は研究室で行う。英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02AM034	国際生物資源開発学講究I	1	1.0	1	通年	随時	研究室		国際生物資源開発学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	連携学生に限る
02AM035	国際生物資源開発学講究II	1	1.0	2	通年	随時	研究室		国際生物資源開発学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	連携学生に限る
02AM036	国際生物資源開発学講究III	1	1.0	3	通年	随時	研究室		国際生物資源開発学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	連携学生に限る
02AM037	植物環境応答学講究I	1	1.0	1	通年	随時	研究室	藤田 泰成	植物環境応答学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	連携学生に限る
02AM038	植物環境応答学講究II	1	1.0	2	通年	随時	研究室	藤田 泰成	植物環境応答学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	連携学生に限る
02AM039	植物環境応答学講究III	1	1.0	3	通年	随時	研究室	藤田 泰成	植物環境応答学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	連携学生に限る
02AM119	森林微生物機能解析学講究I	1	1.0	1	通年	随時		服部 力	森林微生物機能解析学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	授業は研究室で行う。 連携学生に限る
02AM120	森林微生物機能解析学講究II	1	1.0	2	通年	随時		服部 力	森林微生物機能解析学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	授業は研究室で行う。 連携学生に限る
02AM121	森林微生物機能解析学講究III	1	1.0	3	通年	随時		服部 力	森林微生物機能解析学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	授業は研究室で行う。 連携学生に限る
02AM055	国際食料生産開発学講究I	2	1.0	1	通年	随時		村中 聡	国際食料生産開発学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	授業は研究室で行う。 連携学生に限る
02AM056	国際食料生産開発学講究II	2	1.0	2	通年	随時		村中 聡	国際食料生産開発学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	授業は研究室で行う。 連携学生に限る
02AM057	国際食料生産開発学講究III	2	1.0	3	通年	随時		村中 聡	国際食料生産開発学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	授業は研究室で行う。 連携学生に限る

生物圏環境学領域

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02AM101	植物寄生菌学講究I	2	1.0	1	通年	随時	研究室	山岡 裕一, 岡根 泉, 石賀 康博, 阿部 淳一 ピーター	植物寄生菌学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	
02AM102	植物寄生菌学講究II	2	1.0	2	通年	随時	研究室	山岡 裕一, 岡根 泉, 石賀 康博, 阿部 淳一 ピーター	植物寄生菌学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	
02AM103	植物寄生菌学講究III	2	1.0	3	通年	随時	研究室	山岡 裕一, 岡根 泉, 石賀 康博, 阿部 淳一 ピーター	植物寄生菌学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	
02AM104	応用動物昆虫学講究I	2	1.0	1	通年	随時	研究室	戒能 洋一, 古川 誠一, 木下 奈都子	応用動物昆虫学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02AM105	応用動物昆虫学講究II	2	1.0	2	通年	随時	研究室	戒能 洋一, 古川 誠一, 木下 奈都子	応用動物昆虫学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	
02AM106	応用動物昆虫学講究III	2	1.0	3	通年	随時	研究室	戒能 洋一, 古川 誠一, 木下 奈都子	応用動物昆虫学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	
02AM113	土壌環境化学講究I	2	1.0	1	通年	随時	研究室	田村 憲司, 浅野 真希	土壌環境化学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	
02AM114	土壌環境化学講究II	2	1.0	2	通年	随時	研究室	田村 憲司, 浅野 真希	土壌環境化学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	
02AM115	土壌環境化学講究III	2	1.0	3	通年	随時	研究室	田村 憲司, 浅野 真希	土壌環境化学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	
02AM116	植物環境生化学講究I	2	1.0	1	通年	随時	研究室	山路 恵子	植物環境生化学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	
02AM117	植物環境生化学講究II	2	1.0	2	通年	随時	研究室	山路 恵子	植物環境生化学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	
02AM118	植物環境生化学講究III	2	1.0	3	通年	随時	研究室	山路 恵子	植物環境生化学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	
02AM128	森林生態環境学講究I	2	1.0	1	通年	随時	研究室	上條 隆志, 川田 清和	森林生態環境学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	受講は、森林生態環境学講座のものに限る。
02AM129	森林生態環境学講究II	2	1.0	2	通年	随時	研究室	上條 隆志, 川田 清和	森林生態環境学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	受講は、森林生態環境学講座のものに限る。
02AM130	森林生態環境学講究III	2	1.0	3	通年	随時	研究室	上條 隆志, 川田 清和	森林生態環境学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	受講は、森林生態環境学講座のものに限る。
02AM131	地域資源保全学講究I	2	1.0	1	通年	随時	研究室	津村 義彦, 清野 達之, 津田 吉晃	地域資源保全学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	
02AM132	地域資源保全学講究II	2	1.0	2	通年	随時	研究室	津村 義彦, 清野 達之, 津田 吉晃	地域資源保全学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	
02AM133	地域資源保全学講究III	2	1.0	3	通年	随時	研究室	津村 義彦, 清野 達之, 津田 吉晃	地域資源保全学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	
02AM137	生産昆虫機能利用学講究I	1	1.0	1	通年	随時		木村 澄	生産昆虫機能利用学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	授業は研究室で行う。連携学生に限る
02AM138	生産昆虫機能利用学講究II	1	1.0	2	通年	随時		木村 澄	生産昆虫機能利用学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	授業は研究室で行う。連携学生に限る
02AM139	生産昆虫機能利用学講究III	1	1.0	3	通年	随時		木村 澄	生産昆虫機能利用学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	授業は研究室で行う。連携学生に限る
02AM058	植生・気候変動影響学講究I	2	1.0	1	通年	随時		松井 哲哉	植生・気候変動影響学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	授業は研究室で行う。連携学生に限る

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02AM059	植生・気候変動影響学講究II	2	1.0	2	通年	随時		松井 哲哉	植生・気候変動影響学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	授業は研究室で行う。連携学生に限る
02AM060	植生・気候変動影響学講究III	2	1.0	3	通年	随時		松井 哲哉	植生・気候変動影響学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。	授業は研究室で行う。連携学生に限る
02AM020	熱帯林業科学講究I	2	1.0	1	通年	応談		谷 尚樹	熱帯林業科学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う	
02AM021	熱帯林業科学講究II	2	1.0	2	通年	応談		谷 尚樹	熱帯林業科学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う	
02AM022	熱帯林業科学講究III	2	1.0	3	通年	応談		谷 尚樹	熱帯林業科学分野における実験の進め方, 得られた結果のまとめ方, 結果に基づく考察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う	

English Course - Global 30 Project, Arid Land Resources Science (3years)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02AM501	Special Seminar on Arid Land Resources Science	1	1.0	1 - 3	秋AB	応談	4F106	大井 洋, 田村 憲司	This course is design for the students in Arid Land Resources Science Course, educating them on utilization of arid land resources, dealing with emerging problems such as global warming and sustainable economical policies. Professors and researchers are invited from different universities and research institutes for special lectures related to arid land studies.	Compulsory 英語で授業。
02AM502	Arid Land Field Study	3	1.0	1 - 3	通年	随時		大井 洋, 田村 憲司	In this course, field study tours are arranged for practical exposure of the students to arid and semi arid land conditions. The students are provided with field study and research training on biological, environmental and rural development in arid and semi arid regions of the world. Students are also encouraged for participation in conferences, seminars or symposiums related to utilization of biological resources in arid lands.	Compulsory 英語で授業。
02AM503	Dissertation I	2	1.0	1	通年	応談		大井 洋, 田村 憲司	The students will consult with their own academic advisors before enrollment, to decide on which field of study they will conduct their research. They will be involved in different laboratory related activities such as seminars, experiments etc. during the first year of the program.	Compulsory 英語で授業。
02AM504	Dissertation II	2	1.0	2	通年	応談		大井 洋, 田村 憲司	The students will consult with their own academic advisors before enrollment, to decide on which field of study they will conduct their research. They will be involved in different laboratory related activities such as seminars, experiments etc. during second year of the program.	Compulsory 英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02AM505	Dissertation III	2	1.0	3	秋ABC	応談		大井 洋, 田村 憲司	The students will consult with their own academic advisors before enrollment, to decide on which field of study they will conduct their research. They will be involved in different laboratory related activities such as seminars, experiments etc. during the third year of the program.	Compulsory 英語で授業。

グローバル・フード・セキュリティ協働プログラム

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02AM401	グローバル・フード・セキュリティディベート演習	1	2.0	1	秋ABC	木7,8		グローバルフードセキュリティ協働プログラム委員	プログラム参加の学生が共通の理解を醸成し、個々の研究課題との位置づけを認識することを目的とする。要所で個別の講義も盛り込む。食料保障は世界レベルで相互依存となっていることの理解を深め、世界のフードセキュリティと持続性における国連のSDGs(Sustainable Development Goals)達成に関連づけ世界規模課題について、多様な方向性と施策を議論する。特に、対処課題として激変する環境変動や水資源や土地等の生産資源の持続性について認知し、諸国で重要度の高い農業機械の利用、産物の保蔵加工、農業生産の総合管理(特にIPM, integrated pest management)及び育種について、学生個々の深い研究課題と関連づけつつプログラム参加学生が幅広い知見の理解を醸成させる。	02AL401, 02AN401, 02AP004と同一。 英語で授業。
02AM402	グローバル・フード・セキュリティインターンシップ	3	1.0	1・2	通年	応談		グローバルフードセキュリティ協働プログラム委員	グローバル・フード・セキュリティディベート演習による基盤理解ののち、学生が個別に農業開発について調査課題を起案設定し、筑波大学協定校や海外事務所の支援に基づき、課題調査(海外での調査を勧奨)を行い、報告会にて報告を行う。	02AL402, 02AN402, 02AP005と同一。 英語で授業。

食料保障と天然資源管理に貢献するトランスワールド実務人材養成プログラム

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02AM404	グローバル・ヒューマン・セキュリティディベート演習	1	2.0	1	秋ABC	木7,8	生農 G501	TPHRD運営委員教員	プログラム参加の学生が共通の理解を醸成し、個々の研究課題との位置づけを認識することを目的とする。食料保障が世界レベルで相互依存となっていることへの理解を深め、世界のフードセキュリティと天然資源持続性について国連のSDGs(Sustainable Development Goals)達成に関連付け、多様な方向性と施策を世界規模で議論する。特に、対処課題として激変する環境変動や水資源や土地等の生産資源の持続性について認知し、諸国で重要度の高い農業機械の利用、産物の保蔵加工、農業生産の総合管理(特にIPM, integrated pest management)及び育種について、プログラム参加学生個々の研究課題と深く関連付けつつ幅広い知見の理解を醸成させる。	02AL403, 02AN403, 02AP006, 02AS510と同一。 英語で授業。
02AM405	グローバル・ヒューマン・セキュリティインターンシップ	3	1.0	1	通年	応談		TPHRD運営委員教員	グローバル・ヒューマン・セキュリティディベート演習を通して得た理解を基盤として、トランスワールド実務人材養成プログラムの主題である食料保障と天然資源管理への貢献について、個々の学生が調査課題を起案設定し、課題調査を行い、報告会にて報告を行う。特に、筑波大学協定校や海外事務所の支援に基づき、海外での調査を勧奨する。調査のための旅費等は、大学の海外派遣資金による支援を行う。(通年1年春学期ABC-2年秋学期ABC):10月入学のため	02AL404, 02AN404, 02AP007, 02AS511と同一。 英語で授業。 グローバル・ヒューマン・セキュリティディベート演習の単位取得後、履修すること。